

黒川小 だより

白川町立黒川小学校
校長 武市 進
児童数 62名
白川町黒川 2808-1
TEL 77-1101
2017年7月20日発行
校報 No. 5

自分で みんなで 鍛える

子どもたちの数々のがんばりとたくましい姿と共に1学期が終わりました。今年度の黒川小学校のスローガン「自分で みんなで 鍛える」を受けて、子どもたちは先生に頼らないで自分の力で頑張ったり、友達と力を合わせて頑張ったりすることにより、自分を鍛え、たくましく成長しつつあります。こうして子どもたちが頑張れるのは、PTAの皆さんの支えと地域の方々のご協力のおかげです。ありがとうございます。

昨年度の学校課題に「外でも通用するたくましさ」を掲げました。それを受け、今年度は、どこへ行っても相手の意見に耳を傾けながら自分の考えがしっかり表現できるたくましさ課題としました。そのために、自分の考えを相手に伝える表現力の育成に取り組んできました。7月7日（金）に4年生が海津市立大江小学校へ河川交流に出かけました。その交流の中で、子どもたちの表現力とたくましさを感じる場面がありました。

交流会の準備段階では、白川町や黒川の紹介について、調べたことを原稿にし、それを暗記して話すことに精一杯でした。しかし、練習を重ねることにより、本番では、相手に、より伝えるための工夫をしながら、気持ちを込めて発表することができました。大江小学校の校長先生にも、うなずきながら聞いていただけました。

また、今年は大江小学校から「8の字跳び」の挑戦を受けました。そこで、短時間でしたが、休み時間を利用して練習をしました。十分な練習ができず、練習では本来の自分たちの記録には届かない結果でした。不安の中（私だけが不安に思っただけだったかもしれませんが、・・・）大江小学校での「8の字跳び」の勝負に挑みました。対戦相手は大江小学校の4年生だけでしたが、会場となった体育館には大江小学校の全校児童が応援に駆けつけていました。完全アウェーの中で競技がスタートしました。しかし、黒川小学校の4年生はたくましかったです。いつも通りの準備体操といつも通りのかけ



大江小学校での発表の様子

声の中、仲間同士励まし合い、集中力を途切れさせることなく3分間跳ぶことができました。記録はなんと学級記録に迫る「433回」でした。大江小学校の児童と先生からは、大きな拍手と歓声があがりました。交流会後の自由時間には、大江小学校の4年生の子と自由に会話をする姿が見られました。河川交流と8の字跳び交流でつけた自信が、交流会の後の積極的なコミュニケーションにつながりました。

夏休みも 自分で 家族で 鍛える

いよいよ、7月21日（金）から8月28日（月）までの39日間の夏休みがスタートします。子どもたちの生活は、学校生活から家庭での生活になります。しかし、1学期に学校へ登校していた時と同じリズムで朝と夜の時間帯を過ごすように心掛ければ、学校が休みになっても、家庭で充実した夏休みを過ごすことができると思います。

夏休みは、1学期に身につけた「自分で」が試されます。学校から出された課題をやったり、学習の遅れを取り戻したりとやらなければいけないことがあります。それらをすべてやってもまだ時間はあります。「これだけは自分の力でやった」と言えることを1つ、「家族みんなでやった」あるいは「家族の一員としてこれだけは続けた」ということを1つ、夏休みの宝物としてやり遂げてほしいと思います。